

再生建築の可能性

～壊す「更新の文化」から残す「再生の文化」へ～



photo by Kenta Hasegawa

2025年5月16日（金）
16:00～18:00（15:45開場）

会 場：静岡市産学交流センター
6階 プレゼンテーションルーム
※Zoom配信あり

参加費：無料

定 員：会場 80名 / Zoom 100名（先着順）

C P D：2単位（申請中）

問合せ：JIA静岡（※メールをお願いします）
jia-shizuoka@hyper.ocn.ne.jp

参加申込

Zoom



会場



日本の建物の平均寿命は約30年、欧米諸国と比べて短いのが現状です。老朽化や耐震性への不安、そして時代のニーズに適応できないことなどが、その主な理由とされています。

しかし実際には、多くの古い建物の躯体は健在であり、再生できることが多々あります。

再生建築研究所では、「再生建築」という手法を通じて、既存の建物の躯体を活かしながら、自由で柔軟なデザインによって収益性を高め、不動産価値の向上を目指します。また、建物単体にとどまらず周辺地域をつなぐエリア再生にも力を入れています。

本講演では、工事費の高騰、違法建築の是正、環境負荷の軽減といった、既存建物特有のさまざまな課題に向き合い、これまで手掛けてきたプロジェクトをご紹介します。

講師：神本 豊秋 氏

株式会社再生建築研究所 代表取締役

1981年、大分県生まれ。近畿大学九州工学部（現在は産業理工学部に改称）を卒業し、8年間青木茂建築工房に勤務。2012年、神本豊秋建築設計事務所を設立。同年より東京大学生産技術研究特任研究員として、約100年ぶりの東京大学総合図書館の再生に従事。2015年、株式会社再生建築研究所設立。2018年より、ミナガワビレッジに入居・運営を開始。2022年12月より、文部科学省 学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム「CO-SHA」アドバイザー就任。

